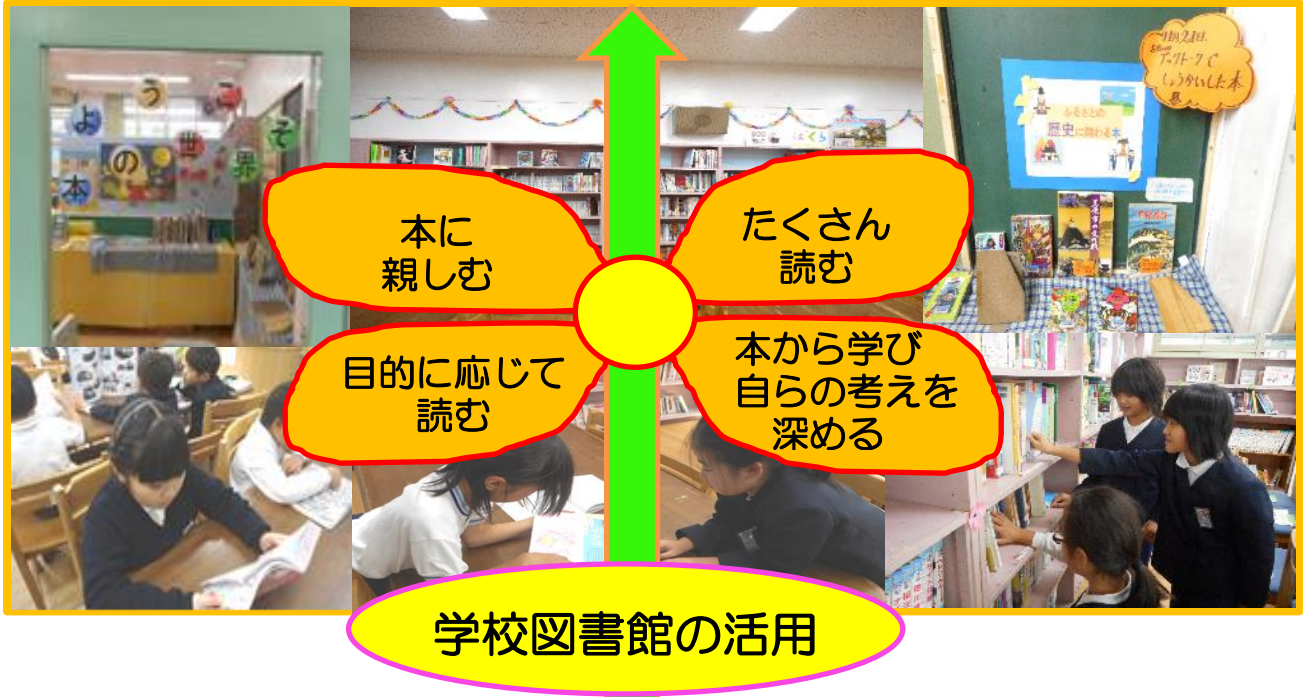




三原市立本郷小学校

学校教育目標「夢大きく心豊かな児童の育成」

～読書の楽しさを実感できる読書教育の推進～



学校図書館での本の貸し出し



- 図書委員による貸し出しを昼休憩に行い、各学級が学校図書館を利用する時間も設定し、様々な本に触れる機会をもっています。

図書館司書との連携



- 図書館司書による学校図書館の掲示やおすすめコーナーは子ども達の楽しみ。本の相談にも答えてくれます。担任も頼りにしています。

図書委員の活動



- 読書朝会では、各学年へのおすすめの本を紹介しました。本の紹介ポスターや家庭読書の呼びかけ、目標を達成した子に渡すしおり作りなども行っています。

日常的な読書活動



- 毎朝8：10～8：30は、朝読書の時間です。年間目標読書冊数を100冊に設定して、読んだ本の題名は「本GOノート」に記録し、1冊読むごとに、読書貯金カードの1マス分を塗っています。

読書環境の充実

本郷図書館とほんごう子ども図書館



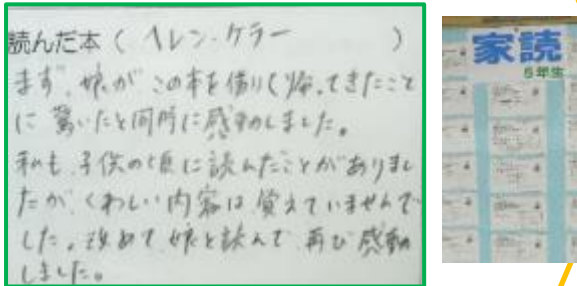
- 本郷町には「三原市立本郷図書館」と全国でも珍しい公設民営の「ほんごう子ども図書館」の2つの図書館があります。多くの本に出会える環境に恵まれ、よく連携させていただきまます。

学年図書 of 充実



- 「三原市立本郷図書館」では、学年で100冊の本を1ヶ月貸りることができるので、並行読書や調べ学習など学年図書の充実に役立っています。

毎月23日の「家読」



- 毎月23日を「家読」（家庭読書）の日に設定。図書室だよりを発行し、家庭での読書活動を推進しています。
- 家読のコメントは学年で掲示。子どもたちも興味深く見えています。学校図書館を利用する機会にも。



6年生の「お話たくはいびん」



- 6年生は毎週水曜日に1年生に読み聞かせをしています。1年生も楽しみにしています。

全校での読書行事



- 4月の「子ども読書の日」、11月の「古典の日」には、全校児童が体育館に集まり、本の世界を楽しみます。「えほんの森」のみなさんや図書館司書と連携して、紙芝居やプロジェクターでの読み語り、ブラックシアターなどを行っています。



「えほんの森」のみなさんとの連携



- 読み語りボランティア「えほんの森」のみなさんに、毎週月曜日と金曜日に読み語りをしてもらっています。語りにひきこまれます。